気候変動の影響への適応 WebEX オンライン

無料

ランチタイムセミナー

ランチタイムのひととき 気候変動の影響と適応策について考えてみませんか？

全５回（7/25・8/22・9/19・10/17・11/21）
各回：12:05～12:55

第１回 7/25（木）健康分野
医療福祉センターさくら 院長 服部 益治 氏

第２回 8/22（木）自然災害・沿岸域分野
気象予報士・防災士、健康気象アドバイザー 吉田 晴香 氏

第３回 9/19（木）農業・林業・水産業分野
函館市頭足類科学研究所 所長 桜井 泰憲 氏

第４回 10/17（木）自然生態系分野
大正大学 地域構想研究所 教授 古田 尚也 氏 氏

第５回 11/21（木）自然災害・沿岸域分野
防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長 中村 一樹 氏

主催：気候変動適応東北広域協議会（事務局：環境省東北地方環境事務所） 運営：日本エヌ・ユー・エス株式会社

参加方法：下記フォームまたは、右の二次元バーコードよりお申し込みください。

https://forms.gle/p5FSQHDNwxaW8Xis8

※ お申し込みいただいた情報は本セミナーにのみ使用し、その他の目的で使用することはありません。

第１回：令和６年７月25日

「地球沸騰時代の健康管理を考える ～熱中症対策を中心に ～ 」

医療福祉センターさくら　院長　服部　益治　氏

1978 年に兵庫医科大学医学部卒、医師免許証取得。1982 年に医学博士となり米国留学を経て 2004 年に母校の小児科学講座教授。2018 年より現職と同大学特別招聘教授を務める。 小児科専門医、腎臓専門医。医学を志したのはマイペースで行える仕事であったためで、腎臓専門医として熱中症の予防医療に関わりたいとの思いから熱中症対策に携わる。趣味は旅行、海外の異文化で仕事をすること。

第２回：令和６年８月22日

「台風・水害に備える～できることから始めよう～」

気象予報士・防災士、健康気象アドバイザー　吉田　晴香　氏

宮城県石巻市生まれ。東北大学教育学、卒業間近の３月 11 日に東日本大震災発生、石巻市の実家が被災する。卒業後は高校の英語教師を経て 2012 年から６年間、NHK 仙台のニュースリポーターとして活動。災害・防災報道に専門家として携わりたいとの思いから働きながら気象予報士を取得。2018 年～2020 年までＮＨＫ仙台で気象キャスターを務める。現在はラジオ出演のほか、全国各地で防災に関する講演や子供向けお天気教室を担当。趣味は宝塚鑑賞と絶景めぐり。

第３回：令和６年９月19日

「スルメイカやサンマはどこに？　気候変動と食卓の変化（仮）」

一般財団法人　函館国際水産・海洋都市推進機構

函館頭足類科学研究所　所長　桜井　泰憲　氏

1950 年岐阜県出身。1973 年に北海道大学水産学部卒業、同大学院を経て 1983 年から青森県営浅虫水族館（現あさむし水族館）に勤務。1988 年、北海道大学水産学部助手となり、28 年間勤務し、2016 年に特任教授で退職した。同年より「函館頭足類科学研究所」所長に就任。

第４回：令和６年10月17日

「気候変動と生物多様性　～防災・減災～」

大正大学　地域構想研究所　教授　古田　尚也　氏

神奈川県出身。総合シンクタンク研究員等を経て 2015 年より大正大学地域構想研究所教授。専門は環境政策で、生物多様性や気候変動に関する環境政策ならびに自然環境を活用した地域づくりに力を入れている。2009 年より IUCN（国際自然保護連合）の駐日事連絡務所代表も兼務。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程単位取得退学。趣味はガーデニングと料理。

第５回：令和６年11月21日

「雪の量や質の変化と冬の防災について」

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

雪氷防災研究センター　センター長　中村　一樹　氏

日本気象協会北海道支社、北海道大学大学院地球環境科学研究院での活動等を経て、2013 年より防災科学技術研究所雪氷防災研究センター在籍。気象災害軽減イノベーションセンターセンター長補佐・研究推進室長等を歴任し、2022 年より現職。専門は雪氷学、気象学、防災教育、産学官連携推進など。